

## 第6回奈良県国際芸術家村構想等検討委員会概要

日 時：平成29年3月29日（水） 16：00～17：35

場 所：都道府県会館 408会議室

参集者：（委員）佐藤委員長、絹谷副委員長、松浦委員  
（ 県 ）荒井知事、松谷副知事、一松総務部長、  
村田地域振興部長、菅谷檀原考古学研究所所長  
（天理市）並河市長

概 要：県及び市における検討状況を報告。各委員の主なコメント等は以下のとおり。

---

### ○各委員の主なコメントの概要

- ・ 運営主体は複合体になるのかもしれないが、価格面だけで選ぶのではなく、実力があり、まとめる力を持ったところが望ましい。
- ・ 全体的なコーディネートをする管理者が大事。各施設に責任者がいるだろうが、最終的にはひとりの人が決断する体制が必要。
- ・ 文化財修復・展示棟では、一級品の仏像等を修理できるといい。今はそういった設備等が全国的に足らず、奈良国立博物館の所有物も、檀原考古学研究所における出土品も、九州国立博物館へ持って行って修復（X線撮影）している。三流の施設にさせないために、最初の投資が重要。

### ○その他

- ・ 次回の検討委員会は、秋頃までに開催し、県の取り組み状況などを説明予定。

以 上